

## 二液エポキシ系充填材

# フローンエポパテ

F★★★★

## クラック補修を速く、確実にこなす強力充填材

### ■特長

1. TXフリー

トルエン・キシレン・エチルベンゼンを含まない環境対応型です。配慮が必要な場所でも安心してお使いいただけます。

2. 乾燥性に優れています。

速乾性なので工期の短縮が計れます。

3. ほとんど目痩せしません。

高不揮発分、粘性調整によりほとんど目痩せ・肉痩せがありません。

4. 密着性に優れています。

エポキシ樹脂を主成分としている為、密着力が優れています。

5. 計量が容易です。

1対1の配合比により、作業性が優れています。

6. 充填作業性、仕上がり性に優れています。

充填しやすいグリス状の粘性で作業性に優れ、仕上がりも滑らかで上塗り性に優れています。

### ■用途

1. モルタル、コンクリートの亀裂、穴、へこみ等の補修材、処理材。
2. モルタル、コンクリート面の下地調整材。

### ■上塗可能時間

温度	10℃	23℃	30℃
可使時間	25分	20分	15分
上塗可能時間	2.5~12時間	2~12時間	1.5~12時間

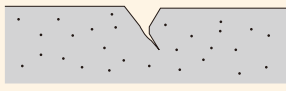
### ■容量・荷姿・配合比・色

品名	フローンエポパテ	
容量	A液	2kg
	B液	2kg
	セット	4kg
配合比 (重量比)	A液	1
	B液	1
色	A液	白
	B液	黒
	混合	グレー

# フローンエポパテ施工方法


### 1. クラック (亀裂)

クラック部を確認して下さい。



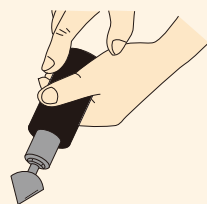
### 3. プライマー塗布

ゴミ、ホコリ等を除去し、プライマーを塗布して下さい。




### 2. Uカット

クラック部をUカッター等でUカットして下さい。



### 4. 充填・仕上

フローンエポパテを充填し、パテベラ等で表面を平滑にして下さい。



## 上塗りの適合性

上塗りには当社塗料全般が使用できます。ただし、上塗り塗料を塗装する場合は、**パテ表面を研磨する**必要があります。

### 当社の主な塗料との密着性

	品名	密着性	備考
エポキシ系	フローン50・55	○	研磨処理が必要
	フローン50TXフリー	○	
	フローンエポローラー	○	
	ソルエポ90	○	
	エポエース	○	
フローンアクアエポ	○		
アクリル系	ハイフローン	○	
	水性フロアー	○	
	フローンアクアファースト	○	
ウレタン系	フローン22	○	
	フローンフルトップ	○	
	AUコート	○	
無機質系	パワフルフロアーⅡ	○	
	フローンアクアストリート	○	




○……密着良好 ×……密着不良  
なお、詳しい適合材料については、当社にお問い合わせ下さい。

## 施工時のご注意

- 下地は、砂、ゴミ、ホコリ等を完全に取除いて下さい。また、新設コンクリート、モルタル面の表面には、レイトンス（遊離アルカリ）による脆弱層が形成されるため、密着不良の原因となります。必ず、ワイヤー付きポリッシャー等でレイトンス層を完全に除去して下さい。
- コンクリート・モルタルの養生不足は、水分の影響により床材層のフクレ、硬化不良を、また、アルカリの影響により密着不良を招く場合があります。したがって、含水率が高周波水分計ケット社製HI-500・HI-520で測定し、コンクリートレンジ表示値が5%以下かつpH9.5以下になってから施工して下さい。コンクリート・モルタル打設後、常温乾燥で夏期3週間以上、冬期4週間以上の期間が必要です。また、降雨直後で下地が水を含んでいる場合は、2日以上乾燥して下さい。
- フローンエポパテは、2液（A液、B液）を規定割合で混合して硬化させるタイプですので、正確な計量および均一なグレーになるまで充分攪拌して下さい。充分な攪拌がされていない場合や、配合比が間違っている場合は硬化不良の原因となります。
- 気温5℃以下、湿度80%以上では施工しないで下さい。硬化時間、硬化後の性能は施工時の温度に大きく影響されます。

<b>10℃以下</b> 硬化後退 <small>(カブリ、シワが発生しやすい)</small>	<b>15℃～25℃</b> 最適	<b>30℃以上</b> 硬化促進 <small>(ポットライフ短縮)</small>
--	----------------------	---

- フローンエポパテは、2液の反応型ですので、可使用時間に制限があります。施工時の温度、施工面積、作業人員等を考慮して、無駄のないように材料を配合して下さい。
- 使われる環境を十分に考慮して、適正な材料と施工法を決定して下さい。
- 施工時には引火、爆発、中毒等の事故防止の為、充分な換気をし、有機ガス用防毒マスク、保護メガネ、手袋等、保護具を着用して下さい。発火原因となる電気溶接、ガス溶断との並行作業を避けて下さい。
- 直接皮膚に触れないように十分に注意して下さい。もし触れた場合、ウエス等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗って下さい。
- 開缶後は速やかに使い切して下さい。貯蔵する場合は、直射日光を避け、乾燥した冷暗所に保管して下さい。
- 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので施工時及び施工後の換気を充分に行なって下さい。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時は、産業廃棄物として処理して下さい。

引火性あり	警告	有害性あり	感作性あり
	1. 引火性の液体である。 2. 有機溶剤中毒の恐れがある。 3. 健康に有害な物質を含有している。 4. 皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがある。		
<b>業務用</b>	<small>(注意事項) 通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、また、重い健康障害を起こす恐れがありますので、取り扱いについては、容器に表示された注意事項を守って下さい。  <b>アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取り扱いを避けて下さい。(呼吸困難や、喘息を引き起こす恐れがあります。)</b>  <small>※詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。</small> </small>		

●お問い合わせは……



## 東日本塗料株式会社

本社 / 〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306

埼玉工場 / 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518

仙台営業所 / 〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320

新潟営業所 / 〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730

静岡営業所 / 〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063

北海道出張所 TEL.090(8586)2214 FAX.03(3697)2306

